

大方支所管内より

青壮年部大方支部の活動

大方支所管内はハウスキュウリが盛んな地域です。青壮年部の活動の一つで、昨年までは毎年、たくさんのキュウリコンテナを集めて部員や営農指導員らで一斉に洗っていました。

これまで、毎年行われる大方産業祭にも出店して地元のイベントを応援したり、JAの中村祭りでは、他支所の青壮年部と一緒に餅つき会場を盛り上げました。

また、地域貢献活動として地元を明るくしようと、毎年耕作放棄地にコスモスやヒマワリを植えます。今年もコスモスが、11月中旬から鮮やかに見ごろを迎えました。地域の方も喜んで下さりうれしいの声も届きました。これからも新規就農する若い農家を部員に呼び込んで、皆で地元を明るく盛り上げていきます！



十和支所管内より

いばら餅・ケーキ作りをしました♪ 女性部幡多地区十和支部のみなさん

女性部十和支部は11月25日、お菓子作り、家の光の読書会をしました。事務局含め9人が参加。『家の光』掲載の料理で「いばら餅」を作りました。上新粉を使わず小麦粉で作るレシピ。葉は部員が持ち寄ったもので、サルトリイバラと言い、秋ごろの葉は固くて使えないので春ごろ葉を摘み、蒸してから冷凍保存し使っているそうです。また、Aコープの「むしパンミックス」を使ったパウンドケーキ、はちみつケーキ、蒸しパンを作りました。蒸し器の蓋を開け「できたー。やったー」と喜びの声が上がりました。その後皆で食べて楽しいひと時を過ごしました。

同支部和手部長は「自粛が続いたので久しぶりの集まり。喜んでくれて良かった」と話しました。



愛育園・大用保育所を招き 芋の収穫 新採用職員の農業体験

幡多地区本部は11月7日、今年度新採用職員の農業研修として、愛育園と大用保育所の園児を招きサツマイモの収穫体験を開催しました。宿毛支所経済課でグリーンセンターはた宿毛店に勤務する寺田樹さんと三崎支所信用共済課の宮崎萌香さんが芋のツル切りや除草、マルチを剥がし、園児が収穫しやすいよう畑を整えました。

午後から園児16人、新採用職員を含め29人が参加。収穫前に寺尾営農指導員が紙芝居を使って、植え付けから収穫、調理から食事までの話をしました。園児は芋が傷つかないように土を掘り、最後は綱引きのようにツルを持ち、芋を引っ張り上げました。尻もちをつきながらも収穫を喜び、「大きいのが取れた」と笑顔。職員は「農作業は初めてだったが下準備から収穫までの工程が体験できよかった。子どもたちと触れ合い心が和んだ」と話しました。園児は「焼き芋がいい」と話し、袋いっぱいに入れ収穫を楽しみました。

新人職員については、今後生産者の下で農業体験を行う予定となっています。

中村支所管内より



中村支所信用課の上岡菜月さんは7月1日にひと足早く農業体験を行いました。雨の中ツル切りから収穫まで一連の作業をしっかりと行いました。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



駐車場にテントを並べ各店舗が販売しました。

1 中村支所
日頃のご利用に感謝 中村まつり開催

栗、打ち刃物の販売、農機具を展示販売。また、しまんと農法米の販売コーナーでは、同農法米の「コシヒカリ」と「ヒノヒカリ」を比べ、とてもおいしい、アンケートに答えて消費者のニーズを聞き取りました。

同支所佐竹英介支所長は「この中村まつりは日頃からJAをご利用くださる組合員、利用者の皆様への感謝の意を含め開催したイベント。また、地域の発展にもつながると考えている。青壮年部や女性部、各関係機関の協力を得て3年ぶりに開催することができた。これからも地域活性化を目指し、組合員、利用者の皆様のお役に立てるよう職員一同努めていきたい」と話しました。

6 幡多地区 需要期に向け 取引市場と意見交換



生育状況を観察する取引市場の皆さん。

幡多地区園芸研究会花卉部は11月4日、主要取引市場を招いて花卉取引懇談会を開き、生産者・関係機関など約40人が参加しました。ほ場視察では生産面での課題や年末に向けた栽培状況を確認。全体会では有利販売に向けた出荷規格の検討や品質向上に向けた取り組み、輸送資材面の対応策など積極的に意見を交わしました。管内は県内有数の花き産地で、施設栽培を中心にさまざまな品目を栽培。今回は産地の主要品目である宿根かすみ草と新品目のハイブリッドスターチスのほ場にて視察を行いました。

4 幡多地区 職員向け料理教室 幡多地区女性部



女性部と一緒に作り料理を習う職員。

女性部幡多地区は11月12日、職員を対象に料理教室を開きました。各支所の女性部支部長5人と10代から60代の職員男女17人が参加。作ったのは巻き寿司の昆布巻き、卵巻き、サラダ巻き、稲荷寿司の4種。作業は同じでも地域で独自の味つけや卵の厚さ、巻きの大きさに違いがあります。

幡東地域と幡西地域で2班に分かれそれぞれの作り方を学びました。女性部員は手本を見せ、巻き方や注意点などの説明をしました。職員らは「巻き卵の焼き方を見たい」と積極的に観察。各自がすべての工程を体験し学びました。調理後は幡東と幡西とも味見をして地域の味を食べくらべました。

7 大方支所 グリーンレモン出荷終了 次期作へ向けて反省会



下村氏より木の管理を学ぶ部員の皆さん。

大方支所園芸部会の施設相橋部会では11月18日、今年度の収穫を終え時期作に向けた検討会と反省会を開催しました。部員やJA職員、黒潮町、幡多農業振興センターなど16人が参加。収穫を終えた現地を巡回し、同部会の下村昌幸氏が生育状況に合わせた木の管理方法など実技を交えて説明。その後の反省会では、同支所販売課が出荷量や販売金額など報告しました。部員らは今年度における収穫までの栽培管理について、来年度に繋げていけるよう意見を出し合いました。下村昌幸氏は「日本一の産地を目指しているのだから全国に送ることが目標」と意気込みます。今年度は約70tの出荷となり、来年度は75tを目標としています。

5 幡多地区 ゴルフ大会でプレーを楽しむ 年金友の会



ゴルフ大会に参加した会員の皆さん。

幡多地区年金友の会は11月16日、ゴルフ大会を開催しました。黒潮町の土佐ユートピアカントリークラブにて39人が参加し交流を楽しみました。順位賞以外にもニアピン賞やドラゴン賞なども各種準備しました。見事優勝したのは三原支部の宮口隆さんでした。おめでとうございます。

同地区年金友の会では10月25日にもグランドゴルフを開いておりたくさんの参加で賑わいました。JAにて年金をお受け取りの皆さまには会員ならではの催し物など開催しております。ご家族やご友人などお誘い合わせで、年金のお受け取りはぜひ、JAをご検討下さい。お問合せお申し込みは最寄りのJA窓口まで。お待ちしております。

3 幡多地区 作業効率のよい方法を 露地生姜部会収穫講習会



初めて出荷をする生産者の皆さん。

幡多地区露地生姜部会は11月4日、露地生姜の収穫講習と目慣らし会を行いました。午前中に幡東ブロック、午後幡西ブロックに分け、生産者と関係機関合わせ約30人が参加しました。今年から出荷を始める生産者が3人おり、営農指導員が実際に生姜を収穫し出荷するまでの作業工程を見せ、コンテナへの詰め方など細かく説明しました。また、講習会には出荷先である(株)あさのの担当者が出席。出荷規格などを確認してもらい、生産者と今年度の動向等について意見交換を行いました。

四万十市内で施設と露地合わせて80アールを栽培している山本成文さんが講習会のほ場を提供しました。

2 大方支所 育苗会社と現地検討会 園芸部会キュウリ部会



意見を交わす松本一浩部会長。

大方支所園芸部会のキュウリ部会は11月8日と9日、ハウスキュウリの現地検討会および巡回を行いました。8日は(株)埼玉原種育成会の現地検討会へ生産者・JA営農指導員・種苗会社から約30人が出席し2箇所で開催。9日は久留米種苗会社と生産者個別巡回を行いました。

幡東営農センターの橋本誠指導員が現在の同支所管内の栽培状況を現地報告。一定時期より天候も良く10月下旬より出荷量も徐々に増え、現在は主枝分の出荷となっている。11月に入りこれから夜温も低く加温機の作動時間も長くなると、草勢も安定してくるので、しっかりと早朝加温を稼働し果実肥大を促してくださいと呼びかけました。同部会は59人が所属し今年度は1750tの出荷を目標としています。

初心者（家庭菜園）向け ジャガイモ



栽培のポイント

- 冷静な気候を好み、15～20℃の気温でもっともよく育つ。霜には弱く、早植えて萌芽したのが晩霜にあうと、地上部は枯死してしまう。
- 生育期間は約3か月と短い割に収量が多いので、でんぷん質作物としてはもっとも生産効率が高く、輪作上も有利である。

【栽培暦】 ●:植付け ■:収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画		●	●			■			●	●		■
												(秋植え)

① 種イモの準備

● 先の方の芽は優勢で大きい。縦に切っていずれの片にも優勢な芽をつける。元に近い芽は小さく、伸びが遅いか、または伸びてこない。中くらい（70g～80g）の大きさなら縦に2つ割りに、大きいものは3～4つ割りに。種イモ専用の無病で充実したものを買い求め、各切片により芽が均等につくよう切断して畑に植える。

② 畑の準備・育成

① 畑は早めに耕し、寒気に当てておく。そうか病は弱酸性～アルカリ性土壌で発生しやすいので、通常は石灰を施さないようにする。

畝の長さ1m当たり **堆肥** 3握り
化成13号 大さじ4杯

★（植え付けの2週間くらい前に約15cmの深さで掘り、元肥を入れ、7～8cm土を戻す。）

② 切断面を下向きに植える。切り口を上に向けると、断面に水を受け、腐りやすくなる。

★ の上に約25cmごとに種イモを置き、その上から5～8cm覆土し、軽く鍬で押さえる。覆土は軽い土では厚く、重い土では薄く。

③ マルチング

フィルムの裾に土をかぶせてしっかり押さえる。黒色ポリフィルムを張ると地温が高まり、収穫を10日以上早め、雑草を抑制する効果がある。芽先がフィルムを持ち上げてきたら、指先でフィルムを破って上に出す。

④ 芽の整理と追肥・土寄せ

1個のイモからは多数の芽が伸びるので、地上部が8～10cmに伸びた頃、2本（秋植えの場合は1本）を残して、他はかき取る。種イモをいっしょに引き抜かないよう片手で押さえ、芽を倒すようにして横に引き抜く。上方に伸びた根茎にイモがなるので、土寄せは大切。

第1回追肥・土寄せ

草丈15cmくらいの頃、畝の両側に肥料を施し、鍬で軽く耕しながら、株元に7～8cmの厚さに土寄せする。マルチングした場合は、フィルムの裾をめくりあげて追肥し、土寄せする。

畝の長さ1m当たり **化成13号** 大さじ3杯
油粕 大さじ5杯

第2回土寄せ（追肥はしない）

第1回の半月後、畝間の土を軽く耕しながら、5～6cmの厚さに土寄せする。

③ 収穫

① 掘り取り収穫

イモがある程度肥大してきたら、他のイモを傷つけないよう注意して探り出す。早どりの新イモの味が楽しめる。（生育中に探り堀をするときは、地上部の茎葉や、地下部の他のイモを傷つけないようにていねいに作業し、ふたたび土を戻しておく。）

② 掘り上げ収穫

葉が黄ばみ始め、イモが完全に肥大してきたら、全部掘り上げて収穫する。

● 収穫は晴天の日を選んでいっせいに掘り上げ、表面を日陰で乾かしてから網かごに浅く並べて、冷暗所で貯蔵する。積み上げると中の方が乾かず、腐りやすい。とくに湿地のものは要注意。



役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

■ 幡多農業振興センター 和田 卓巳（電話 0880-34-7070）

水稻の育苗について

昔から、米づくりは「苗半作」と言われるくらい健苗育成が大切と考えられています。「良い苗」とは「茎が太く短く、葉幅が広い苗」（図1）であり、このような苗を植えることで、活着や初期の生育がよくなります。

良い苗を作るには、育苗の作業工程（図2）をしっかりと行う必要があります。近年、当センターでは、出芽にばらつきが出る等の育苗に関する相談が増えています。

そこで、今回は出芽をしっかり揃えるための注意点を紹介します。

- ① **塩水選**：自家採種、購入種子のどちらでも必ず行うこと。箱苗の場合、水 10Lに対して食塩 850g（硫安なら 1060g）ポット苗の場合、水 10Lに対して食塩 2250g（硫安なら 2810g）
- ② **浸種**：種籾の量は袋の8割程度までにする。水温 15℃、浸漬期間 7～10 日間を目安（積算温度 100～120℃）。水を循環させる、または 2～3 日おきに交換する。最初の 1～2 日は 10℃ 以下にすると発芽揃いの原因になるので注意。※特に、早期稲の浸種は温度が確保できる室内で行うこと。
- ③ **催芽**：30～32℃ で約 24 時間加温する。種籾から芽が 1～2mm 出ているハト胸状態にする（図3）。
- ④ **播種**：播種時の覆土が厚すぎると、出芽揃いの原因になるので注意。
- ⑤ **出芽**：出芽長は 1cm 程度で長くしすぎない。

上記のことを意識して管理すれば良い苗作りにつながるので、実践してみましょう。これ以外にも、ハウスでの育苗管理中の高温による苗の軟弱徒長化などは本ぼの生育にも影響するので、出芽以降の育苗管理もしっかり行いましょう。

また、早期稲ではあまり見られませんが、普通期稲で苗いもちが多く見られています。苗いもちの発生を抑えるために、① 高温多湿にならないような温度管理、② 育苗期に使用可能な薬剤による防除を心がけましょう。

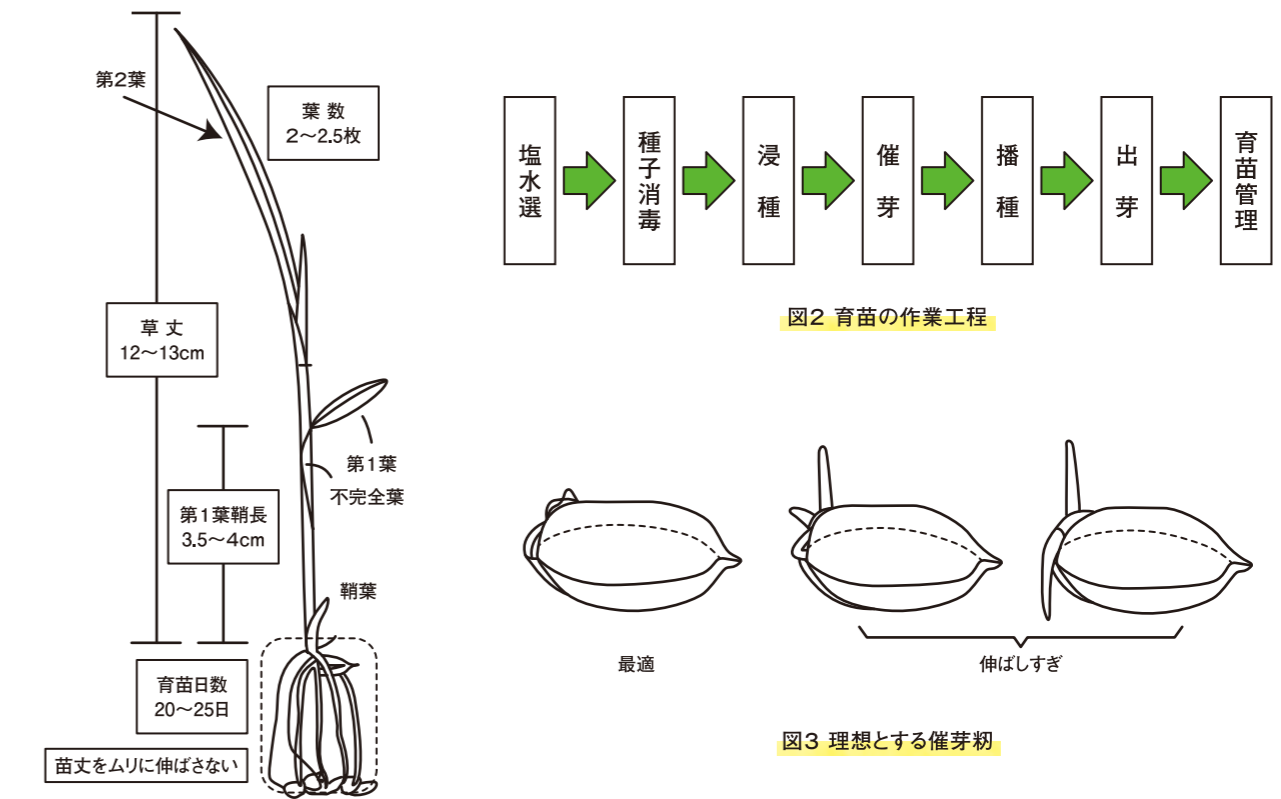


図1 理想とする苗姿

図3 理想とする催芽籾

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

昨年、ニラ農家の家に嫁ぎ、毎月「こうぐり」を読ませていただいております。ニラ農家の方と営農指導の方の連携の特集を拝見し、夫の姿を重ねていました。夫も営農指導の方と連絡を取り合い、良いニラを作るために切磋琢磨しています。

(大方支所管内・29歳)

▼出荷する野菜は、生産者の皆さんや営農指導員の努力の結晶ですね。私たちは年間を通しておいしいニラを食べる事ができ、野菜炒め、ラーメン、焼きそば、餃子、鍋物、汁物、チーズともよく合う和洋中たくさんさんの料理で活躍してくれそうです。我が家では常備野菜となっておりま。

農家と共に伴走する営農指導を見て、同級生が出ていて40年ぶりに見てびっくりしました。巨大カボチャですごくいです。育ててみたいと思いました。近くの小学校のカボチャがイノシシに食べられて残念でした。

(大方支所管内・60歳)

▼広報紙を通して同級生に出会えたこと。私も嬉しくなりました。

こんな大きなカボチャがあるなんてびっくりしました。とても一人ではなかなか運べないので大変ですね。

(佐賀支所管内・51歳)

▼大きなカボチャが並んでいる様子は見事でした。皆さんが楽しみに育てた大切なカボチャを、職員も傷つけないように落とさないように慎重に持ち上げたり運んだりしていました。

毎回うちんくの台所のコーナーを楽しみにしています。今回は「ローストビーフ」家でも時々作るのですが、又、変わったたれで食べるのも楽しみです。

(中村支所管内・66歳)

こうぐりは野菜を使ったレシピが豊富で毎回楽しく勉強させてもらっています。

(西土佐支所管内・72歳)

▼11月号の「うちんくの台所」はローストビーフのレシピでした。今まで作ったことがなかったのですが、たれのレシピもあったこともあり挑戦してみました。おかげでおいしくできました。女性部の皆さんの料理は手間も少なく材料も「ほんとにこれだけ？」と思います。がきちんとおいしく出来上がります。

初心者向け、タマネギの植え方が良かった。初心者なので、2、3種類の野菜の育て方があれば良かったです。これからも参考にさせていただきます。

(中村支所管内・66歳)

いつも栽培のポイントを参考にしています。播種の頃を「こうぐり」に掲載してもらおうとうれしかな。

(三崎支所管内・77歳)

初心者(家庭菜園)向けコーナーがとて有難い。参考にしている。

(三崎支所管内・68歳)

▼初心者(家庭菜園)向けコーナーをご覧いただきありがとうございます。月に1種類ずつの掲載で大変申し訳ございません。播種を行う土づくりは重要ですね。できる限り分かりやすく、畑づくりから掲載していきます。

月刊誌『地上』を購読しませんか

OJA YOUTHのページ

- ・若きリーダーの背中
- ・恋農age
- ・現場発！盟You伝

○農業マーケティングのページ

- ・品目動向・トレンド
- ・農業技術最前線
- ・心を動かす！販促の極意

○農'sdays など。

どれも興味関心のあるものばかりです。

「わかりやすく」「おもしろく」「タイムリー」「役に立つ」をキーワードに誌面を展開します。



各月ごとでも
年間でも
購読できます。

- 4月号・11月号・・・680円(税込)
- 上記以外の月号・・・618円(税込)
- 1年間(12月号から翌年11月号)購読・・・6,922円(税込)

お申込み・お問い合わせは最寄りのJAか下記までお気軽にご連絡ください。
高知県農業協同組合 幡多地区 企画組合員課 石崎 0880-34-5555